

第3章 データヘルス計画の目的と方策

1. 計画の目的

志布志市の国民健康保険加入者においては、年代が幅広いことから、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上が図られ、結果として医療費の適正化に資すると考えられるため、今期のデータヘルス計画においても、「健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上」と「医療費の適正化」を目的とします。

2. 目的を達成させる事業

健康課題の解決に向けて、本市では下記のとおり保健事業ごとに目的をもって取組みます。

目的	関連する保健事業
・特定健康診査の受診勧奨を行い、特定保健指導を実施し、対象者のメタボリックシンドロームの改善を図ることで、生活習慣病の減少を目的とします。	・特定健康診査(受診勧奨) ・特定保健指導
・糖尿病性腎症重症化予防のプログラムの利用及び医療機関受診を促進し、糖尿病等に伴う慢性腎不全患者および関連医療費の減少を目的とします。	・糖尿病性腎症重症化予防
・CKD予防連携システムにより、かかりつけ医と連携し、適切な医療受診・早期介入により、慢性腎臓病の重症化予防を目的とします。	・慢性腎臓病(CKD)重症化予防
・ハイリスク者の医療機関受診・継続受診について働きかけることや保健指導を継続して行うことで、メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病等の生活習慣病の重症化予防に資することを目的とします。	・重症化予防 ・医療受診勧奨
・血管変化を早期に捉え、保健指導を実施することで、虚血性心疾患及び脳血管疾患の重症化を予防します。	・二次健診
・がん検診の受診を促進し、がん死亡率の低下およびがんの早期発見・早期治療の推進を目的とします。	・がん検診
・歯科・歯周病の検診の受診促進と適切なセルフケアの推進を図ることで、歯科・歯周病および関連疾患の予防を目的とします。	・歯科検診
・重複受診、重複・多剤処方が改善することで、受診・服薬の適正化および後発(ジェネリック)医薬品の促進を通じた医療費適正化と健康障害予防を目的とします。	・適正受診、適正服薬 ・後発(ジェネリック)医薬品促進
・高齢者の社会参加を促進することで、フレイルおよび要介護の予防とQOLの向上を目的とします。	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
・こころの健康の保持・増進については自殺死亡率の減少を目的とします。	・メンタルヘルス対策